

2011年3月

歴史 No. 2

けんぱくものしりシート

もり おか じょう 盛岡 城



もりおかじょう えどじだい いま いわてけん きたがわはんぶん あおもりけん ひがしがわはんぶん あき
盛岡城は、江戸時代に今の岩手県の北側半分から青森県の東側半分と秋

たけんかづのちほう しはい もりおかはん なんぶし た しろ とのさま す
田県鹿角地方を支配していた盛岡藩の南部氏が建てたお城です。お殿様が住

み、たくさんの役人がはたらき、さまざまな儀式がおこなわれていました。



本丸
お殿様の生活の場でした。天守閣（本丸最大のやぐら）にあたる三層やぐらがありました。

二ノ丸
藩の政治を行う役所の多くがあり、たくさんのお侍さん（役人）がはたらいていました。

三ノ丸
東部には八幡社・大日堂などがあり、霊域でした。

水堀
敵がせめてくるのを防ぐために、お城のまわりをほって北上川・中津川から水をひきました。

石垣
この地でとれる花崗岩をふんだんに使いました。長い間に何度も工事が行われ、「笑い積」・「算木積」など様々な積み方が見られます。

【クイズ】盛岡城は、今の岩手県でいうとどんな場所にあたるかな？

- ① 県庁と県知事（県のリーダー）のお家
- ② 小学校
- ③ 博物館

もりおかじょうふくげん もけい
盛岡城復元模型
（縮尺250分の1）

もりおかじょう
Q. 盛岡城は‘いつ’‘だれが’つくったの？

A. 1598 (慶長3) ~ 1635 (寛永12)

ねんごろ やく ねん なんぶのぶなお
年頃までの約40年にわたり、南部信直

としなお しげなお さんだい
・利直・重直の三代が作りあげました。

もりおかはん おさ とち
盛岡藩が治めていた土地
1598 (慶長3) 年頃

いま あおもりけん
今の青森県
ひがしがわはんぶん
(東側半分)

いま あきたけん
今の秋田県
かつのちほう
(鹿角地方)

いま いわてけん
今の岩手県
きたがわはんぶん
(北側半分)

もりおかじょう
盛岡城



Q. どうして‘この場所’にお城をつくったの？

A. 盛岡藩のお殿様は、おもに次の理由から盛岡にお城をつくりました。

きたかみがわ なかつがわ しずくいしがわ かわ ごうりゅうてん
北上川・中津川・雫石川3つの川の合流点だ！

てき ときまも つごう よ
→ 敵にせめられた時守るのに都合が良いし、
ふね もの はこ
船で物を運ぶこともできるぞ。

もりおかはん おさ とち ひろ へいち
盛岡藩が治めている土地のほぼまん中にある広い平地だ！

ひろ へいち ひと す
→ 広い平地だからたくさん人が住めるし、
りく こうつう べんり
陸の交通にも便利だな。

しろ ちゅうしん まち ぼく
「お城を中心にした町づくり」をしたい僕にぴったり！



もりおかはん とのさま
盛岡藩のお殿様

もりおかじょう いま み
Q. 盛岡城は今も見ることができるの？

A. 盛岡城は明治時代にとりこわされてしまいました。しかし石垣とお堀の

いちぶ
一部はこのこされ、1937 (昭和12) 年に国指定史跡となりました。

いま もりおかじょうあとこうえん いわてこうえん ひとびと ば
今では盛岡城跡公園(岩手公園)として人々のいこいの場となっています。

さんこうにしたいほん 『よみがえる日本の城9 盛岡城』 学習研究社 2004年

いわてこうえん 『岩手公園~その100年の歩み~』 盛岡タイムス社 2006年 ほか

《クイズの答え》 ①

らいげつ がつ
来月(4月)の
けんぱくものしりシートは
みんぞく
民俗-2だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>